

大切な自然

パートII

甲賀市内の大切な自然が存在する地域について紹介します

●第13回●

信楽町
朝宮一宮尻

コオニユリ



国道307号は信楽町朝宮地区に入ると、道路の両側に美しく刈り込まれた茶畑に囲まれます。丘陵地をこんもりとした緑の線がゆったりと波打っています。

上朝宮から田代に通じる、岩谷川の流に沿った道を入れてまもなく、杉の大木に囲まれた岩谷観音（岩谷山仙禅寺）があります。小高い岩上の小堂の周りは、コウヤコケシノブ、ウチワゴケなどの多くのシダ植物が見られ、スギやウラジロガシ、ツクバネガシ、ヒメコマツが空を覆っています。さらに道を進むと、よく手入れされた茶畑が広がっています。

この近くで甲賀市の花、ササユリが地元の人々によって大切に育てられています。

田代に抜ける道は春はタムシバ、コバノミツバツツジ、初夏はサワフタギ、夏はコオニユリ、秋はヤマジノホトトギス、アキチョウジなどの花が咲く静かな道です。



ヤマジノホトトギス

経塚、猪背山などいくつかのピークがありますが、なだらかなゆったりとした山並みは大津市田上山地へと続いています。

307号を離れ、信楽川の流に沿って行くと、宮尻です。スギヤカヤ、イチヨウ、木肌が鹿の子模様のカゴノキ、タラヨウなどの大樹のなかに大宮神社があります。茶畑もありますが、深い森と信楽川にそそぐ数多くの流れが、たくさんの生き物を育んでいると予想されていますが、まだ十分に調査されていません。

みなくち子どもの森自然館

☎ 63-6712 FAX 63-0466

11月の
休園日

4日(火)、
17日(月)

10日(月)、
25日(火)

鳥獣害対策ニュース

No.15

今回はイノシシがいやがるとされる物質について国の研究機関等が検証した結果を紹介いたします。

この実験は野生で飼育下のイノシシに、いやがるとされる次の物質を近づけて検証したものです。

結果は次のとおりです。

○クレオソート、木酢液（もくさくえき）

↓忌避行動を示さない。

○猛獣の糞、イノシシやブタの血液・胆汁・尿

↓忌避行動を示さないか、すぐに慣れてしまう。

※忌避行動：嫌がって避ける行動

ほかにも、においのするものであればと、トイレの芳香剤をつるしている場合がありますが、実験では芳香剤を食べてしまうほど好きな反応を示すことがわかっています。

しかし、実際、現場で使った場合にイノシシの侵入がとまったという事例もあります。これは、においそのものを嫌がって避けたのではなく、今まで何もにおわなかった場所がおう、あるいはにおい物質の入れ物が置いてあるなど、いつもと何か様



子が違うという周囲の状況をイノシシが察知して、一時的に警戒するためではないかと考えられています。

今のところ、イノシシが嫌うにおいは見つかっていませんが、今後現場でにおいを利用した防除を考えるとときには、イノシシが一定の間警戒することはあっても、いずれ馴れてしまうということを念頭においてください。

狩猟期間が始まります

滋賀県では毎年11月15日から翌年2月末日までは狩猟期間となります。入猟にあたって狩猟者に対して徹底した指導を行っています。不慮の事故を防ぐためにも狩猟者に分かりやすい服装で山に入るなど、十分に注意してください。

問い合わせ

農業振興課 鳥獣害対策係
☎ 65-0734 FAX 63-4592